

Future Design プログラム2025

ふわふわ巻き込み大作戦

～ふわふわCAMP FIRE～

Aグループ

上田 和葉／細野 真／本田 貴人／溝口 侑

【 目次 】

01

企画概要

02

課題設定

03

ターゲット

04

解決策（企画詳細）

05

運営方法

06

学内広報

07

まとめ

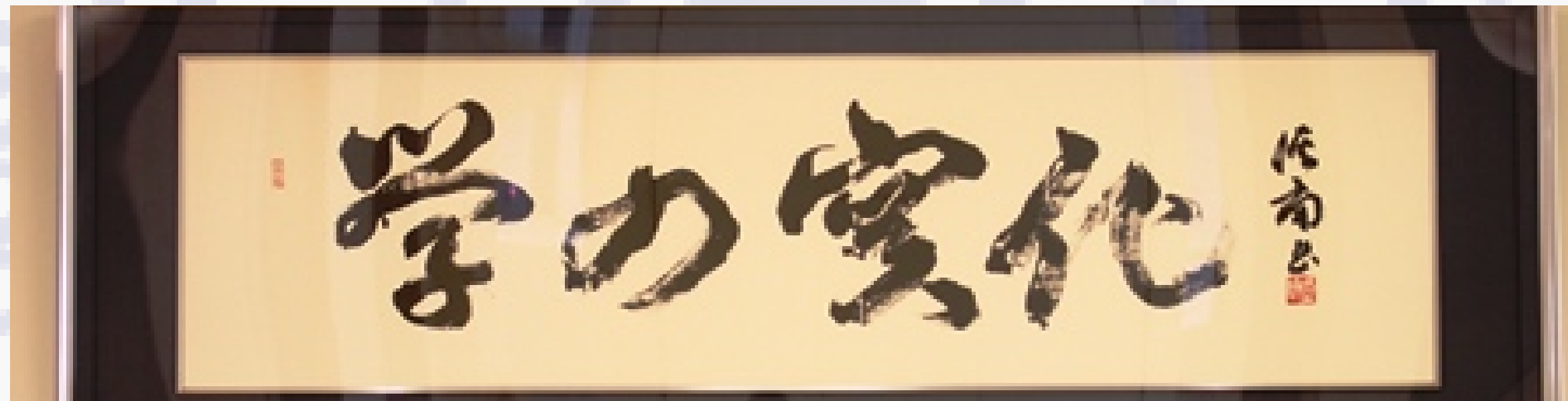


ふわふわ巻き込み大作戦
～ふわふわCAMP FIRE～



1. 企画概要

やりたいことが見つからず、
なんとなくふわふわと生活してる**学生**が
輪になって自身の“**やりたい！**”や“**挑戦！**”を
「気づき→宣言→行動→報告」の共有
関大生の成長を相互的に促進できる場作り

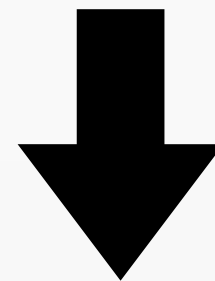


2.課題設定

- ・一定数存在している

ふわふわ層=大学での学びに前向きになれない学生

⇒大学では「授業での学び」を評価することが多く、
”その他の活動”を評価される機会が少ないのでは？



ふわふわ層のやる気を高めるため、さまざまな
ことに頑張っている学生との交流の場を創出する

3.ターゲット

⇒1年生から3年生前期までの学生

1. ふわふわ層

(何かに挑戦したいがためらってしまう学生)

2. 自ら興味をもって参加する層

(本人が熱意をもって何かに頑張っている学生)

3. 大学として見せたい層

(学内で何かの取り組みに励んでいる学生)

4-1. 解決策（イベント詳細）

これまでの正課・正課外プログラムとは違い、特定の活動に取り組む・何かを学ぶことを目的とせず、様々な学生が交流することで、ふわふわ層に火をつけ、関大生全体の成長を生み出すプログラム

1. ふわふわ層

（何かに挑戦したいがためらってしまう学生）

「何か」をやりたいと思っているけれども、
大学の授業に対しては、なんとなくうまく乗り切れず…
サークル・クラブへの入部の時期も逃し…
という人たちが、「何か」を見つける機会を作る



2. 自ら興味をもって参加する層

（本人が熱意をもって何かに頑張っている学生）

「何か」に頑張っていることを共有してもらう。
〔ふわふわ層〕に対して、こんな挑戦もあるんだという
気づきを与えてもらうと同時に、挑戦している学生同士
が刺激し合ったり、仲間を作ったりする場にする



3. 大学として見せたい層

（学内で何かの取り組みに励んでいる学生）

一緒に運営してもらうメンバーでありつつ、
関大の中で、こんなな挑戦をできるんだよということを
話してもらい、活動に参加する仲間を募る場にする

4-2.解決策（イベントの開催方法）

◇年4回

（自由参加制）

※少なくとも1タームの参加は必須

秋学期後（1月）

春学期前（3月）

GW明けより1か月に1回程度で
勧誘会を開催
（1年生向け）

春学期後（7月）

長期休み中も
頑張りが続いている
状態を目指す！

秋学期前（9月）

4-3.解決策（イベントのタイムテーブル）

1回のイベントはランチを含む2時間半を予定。

11：30～12：00 オープニング・セッション

- 初めて参加する学生向けの趣旨説明
- すでに取り組んでいる活動がある人に、プレゼンをしてもらうセッション



12：00～12：30 ランチョン・セッション

- ランチをしながら、自己紹介を含めて軽い交流
- 広報したいクラブ・サークルからの情報提供タイム

大学へのお願い！
ランチ代の予算ください！

12：30～13：30 交流セッション1

- これまでの活動（今回のタームで取り組んだこと）の成果を共有する時間
- 4~5人のグループで30分×2セット



13：30～14：00 交流セッション2

- これからの活動（次のタームで取り組みたいこと）の目標や計画を共有する時間
- 4~5人のグループで30分

5.運営方法

運営主体・・・教育推進G

企画の詳細決定

イベント運営

派遣スタッフ・学生の調整

- ・派遣スタッフ・・・様々な部署から選出

教育推進Gと共に本イベントを創る

- ・学生・・・学業面、部活動、学内イベントで頑張る学生に協力依頼

→最初から募集学生のみでは、不確定要素が大きすぎるため

⇒ふわふわCAMPFIREスタッフとして企画運営



6.学内広報



チラシ配布・・・やる気層向け、ふわふわ層向けの2パターン作成
授業終わり・オリテでの配布
ポスターとして各所に貼付

小規模イベント・・・夏まで1年生向けイベント開催
ガイダンス、上級生との交流会など

Googleフォーム等で参加人数を把握＆当日参加もOK



7.まとめ

関大と自分の可能性を知る

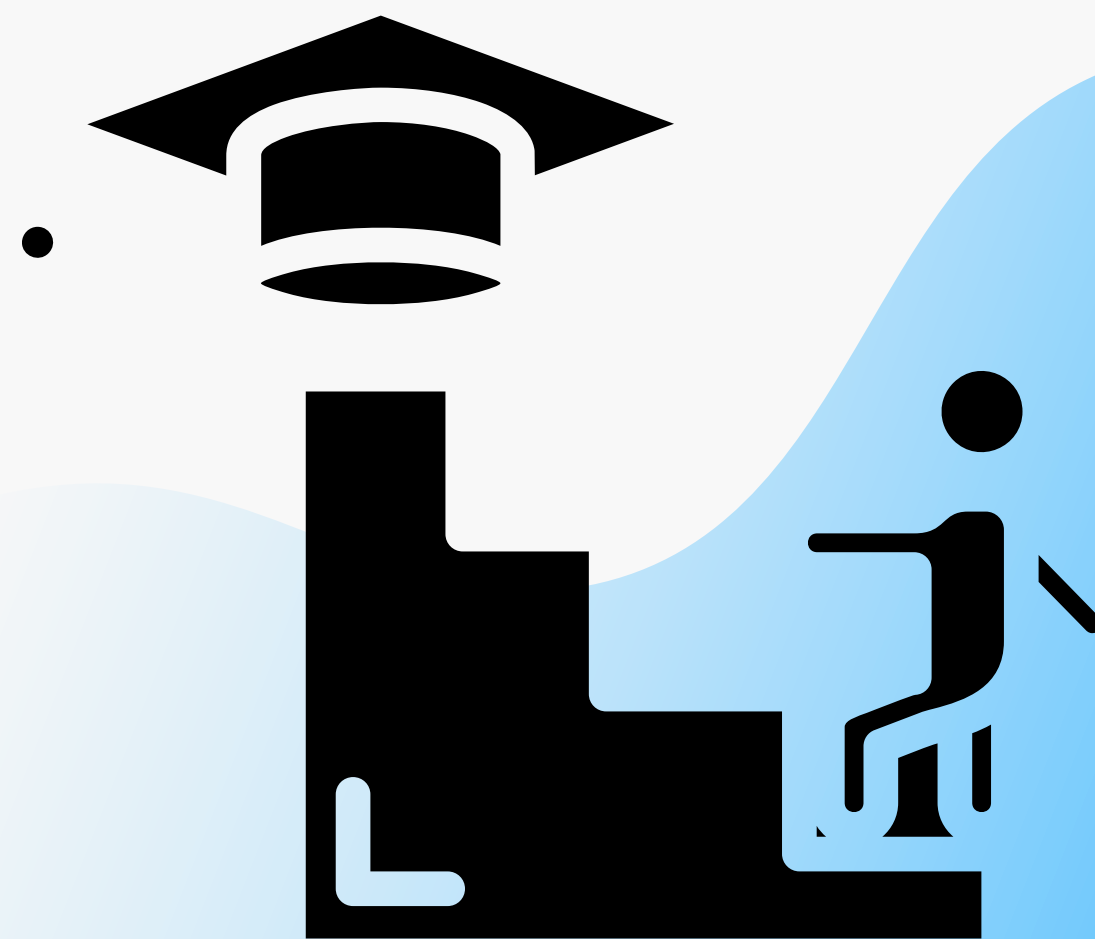
同世代の仲間と繋がる



7.まとめ



1人でも多くの関大生の自分なりの挑戦と学び後押ししたい！



**関大生の成長が何十年も続く
循環システムを創る！**



ご清聴ありがとうございました！